

サステナブルツー リズムと情報発信

名古屋外国語大学 現代国際学部国際教養学科
松島梓

観光をめぐる環境の変化

- コロナ禍において、観光業界は打撃
- 旅行者のサステナビリティに対する意識の高まり

◎世界の旅行者

- ・「旅行に使ったお金が現地コミュニティに還元されることを望む」・・・68%
- ・「旅行に関する選択をさらに配慮することによって現地のコミュニティや経済を支えたい」・・・43%

(出典：Booking .com 2021)

高山における調査結果

- 調査した旅館18軒中6軒のみ
→「SDGsという言葉聞いたことがある」

★SDGsについてさらに進んだ取り組みが必要

「旅行者から選ばれる観光地」

- 観光がこれまで以上に生み出す環境、文化遺産、社会に与える負荷や悪影響
- ➔ **地域が一丸となって取り組むサステナブルツーリズムの推進が求められている**

サステナブルツーリズムとは

- 「訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した観光」
- 「長期間の持続可能性を保障するには経済、社会、環境の3つの領域間での均衡にも配慮しなければならない」

➔ **国立公園内の平湯温泉地域にとってサステナブルツーリズムは重要な意味を持つ**

(出典：国連世界観光機関 n.d.)

経済、社会、環境の3つの領域の均衡

■ 経済面

長期的な経済活動を保障するには欧米からの観光客も視野に入れたインバウンド観光の推進に加え、平湯温泉地域におけるより効果的な経済活動について検討する必要がある

地場産業の積極的活用

地域住民が観光客から得る収入：「観光収入」

★3つの要素をバランス良く高める必要がある

★域内調達率を高める

- ・「地場産品を積極的に活用する」

(出典：公益財団法人日本交通公社 2021年8月30日)

観光収入の構成要素

①観光客数

地域の外から訪れた
観光客の延べ人数

×

②消費単価

訪問先の地域での
1人1回あたり支出金額

×

③域内調達率

原材料や商品、人材などを
域内から仕入れる割合

(<https://www.jtb.or.jp/research/economic-column-now/>)

他地域の観光産業例

■ 徳島県 上勝町

「持続可能な地域社会づくり」

➡ 地域資源と高齢者などのマンパワーを活用した情報戦略型産業の推進を行う



(http://www.asahi.com/showbiz/tv_radio/TKY200905260195.html)

(出典： 朝日新聞DIGITAL 2009年5月26日)

具体的政策



(<https://ameblo.jp/iguccho-simprin/entry-11456221570.html>)



(<http://www.kamikatsu.jp/kankou/miru/spot/>)

- ごみを34分別
 - 自然エネルギーによって二酸化炭素排出削減、地域景観の整備
 - 木の葉を料理のつまものとして商品化
- **平均年齢70歳の高齢者約190人を雇用して経営を行う**（**域内調達率向上**）
- 「葉っぱの町、上勝町」・・・サステナビリティによって知名度を高め、観光地としても自然観光をメインに

考察

- 持続可能性に配慮した政策を行うことで域内調達率を最大化でき、観光収入を増やすことが可能
 - ・ 観光客数 ➡ 「SNSによって観光客数を増やす」
 - ・ 消費単価 ➡ 「地域内での観光客の消費単価を増やす」
 - ・ 域内調達率 ➡ 「環境に配慮した政策、地産地消促進によって域内調達率を最大化する」

★長期的な持続可能性を保障できるバランスのとれた経済活動を確立できる

平湯温泉における 広報の新たな視点

—SNSによる有用性と可能性—

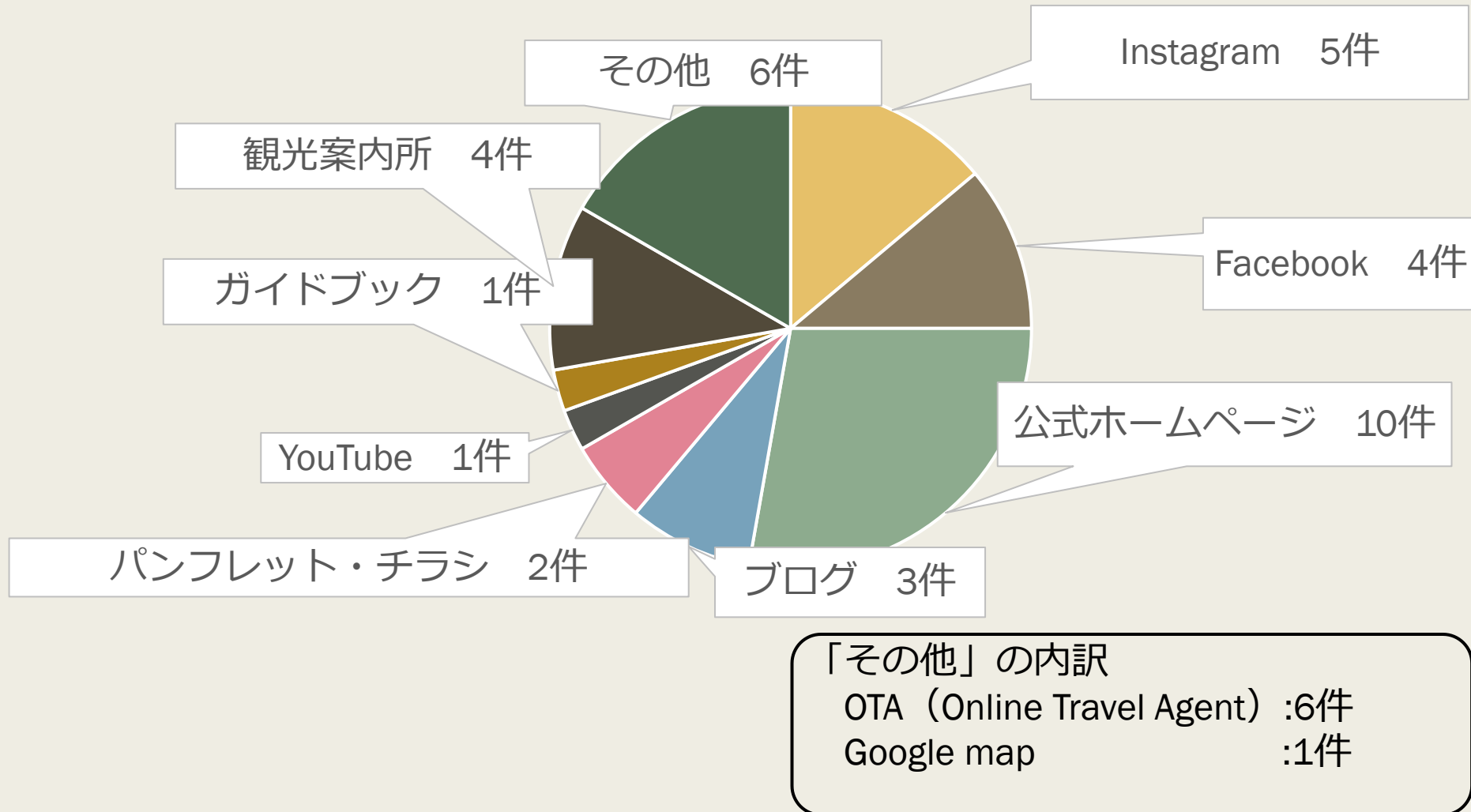
名古屋外国語大学 現代国際学部国際教養学科
坂田凌雅

はじめに

SNSを活用した広告は有用であり
平湯温泉地域にはまだ成長する余地がある

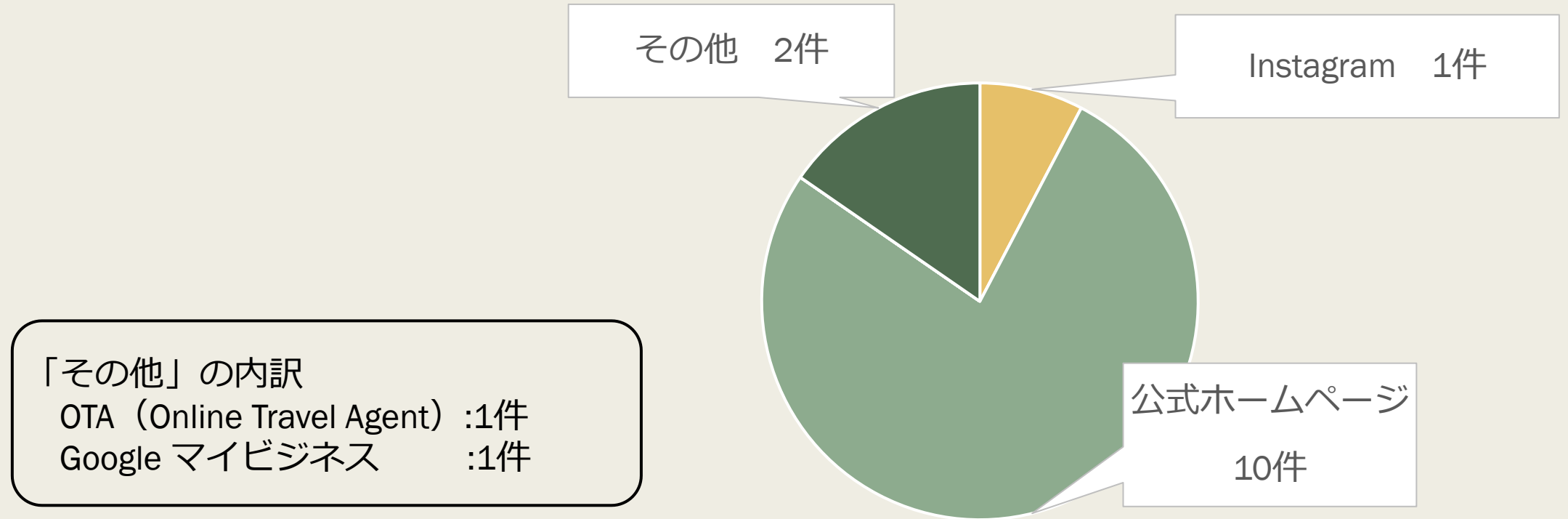
調査結果

問45 - 1 どのような方法で集客を行っていますか（複数回答可）



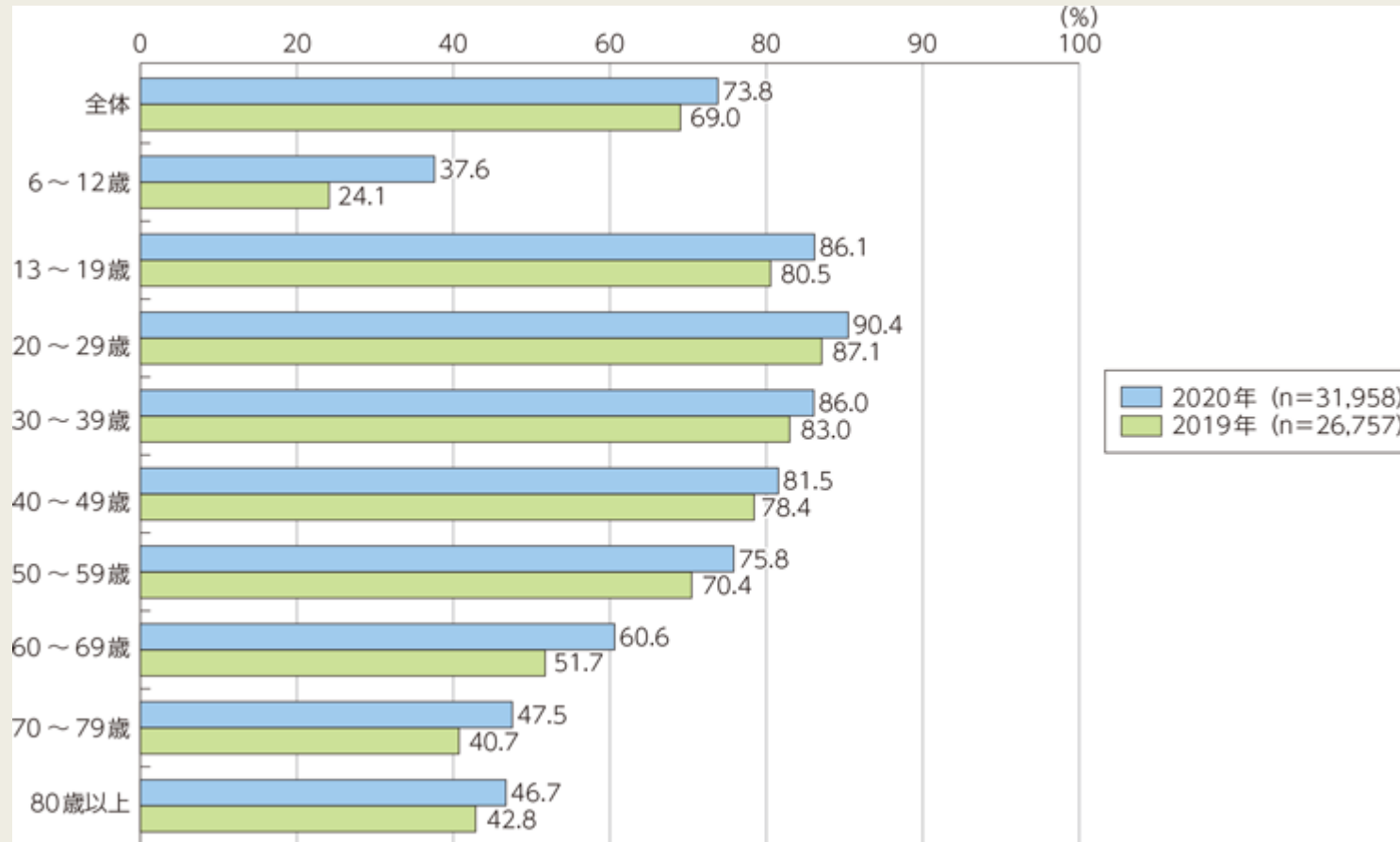
調査結果

問45 - 2 選択肢のうち一番力を入れている広告方法はどれですか。



SNSに力を入れている施設が少ない

年齢階層別ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況（令和3年版）



→若者はもちろんのこと、
幅広い年齢層にヒットする
可能性

→SNSの活用があまり
行われていない平湯で
有用

総務省HPより引用

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242120.html>

直面する課題

①若い人よりも簡単に使いこなせない

キャプションの作成や画像加工など

②持続性がない

忙しいと更新を怠ってしまう・使い慣れておらず面倒に感じる

過去の挫折からの教訓

解決策

SNSの活用以前に、土台作りが必要

①若い人よりも簡単に使いこなせない

→SNSセミナーの開催

②持続性がない

→ユーザーからのフィードバックを多く受け取る

= オフライン・オンライン両方で利用客とコミュニケーション

モチベーション維持を第一に

SNSの活用案①

SNSキャンペーン

「写真とハッシュタグ#〇〇〇

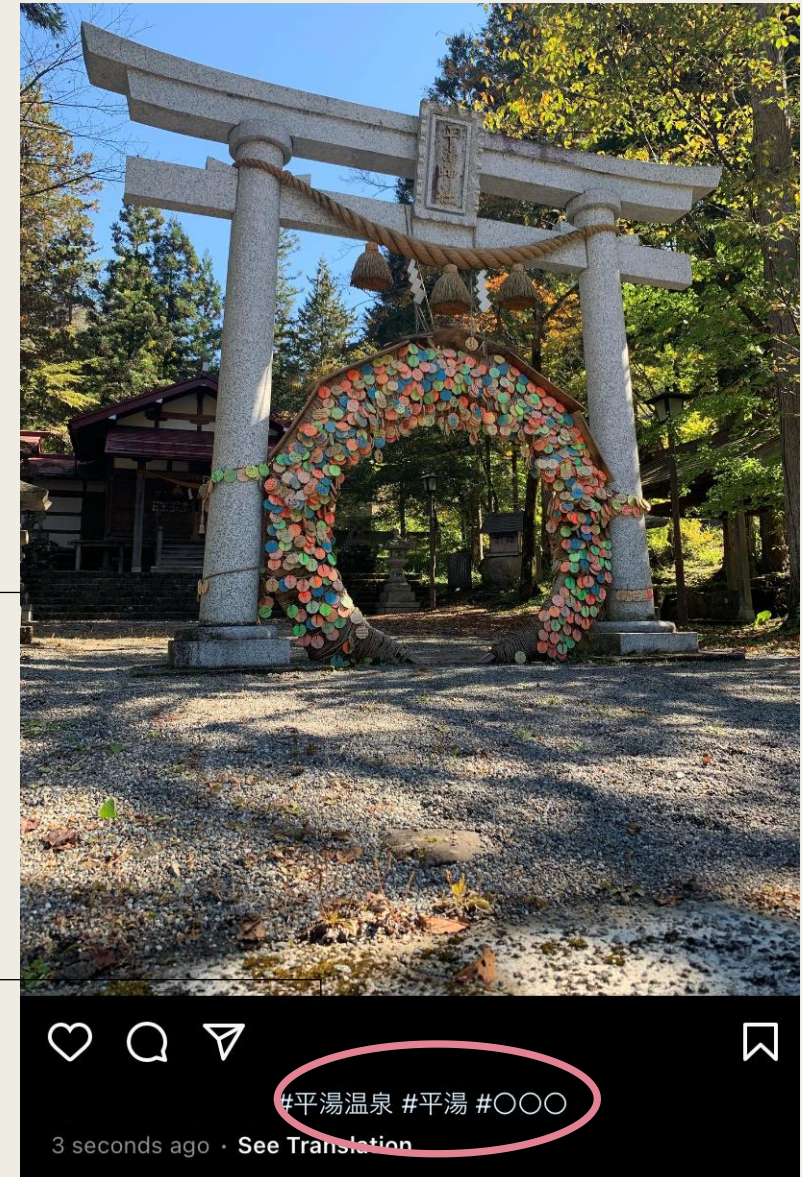
をつけて投稿しよう！

店員さんに見せると□□をプレゼント！」

平湯は視覚的満足度が高い＝写真が映える

投稿を促す＋ハッシュタグで見やすくすることで、#平湯 を調べた人に魅力を伝えやすい

スタッフとのコミュニケーションに繋がる



SNSの活用案②

キャラクターを使用

①：なりきりアカウント

②：この写真の中に
ゆうゆくんが隠れているよ！
見つけたら教えてね！



平湯 ゆるキャラ
ゆうゆくん



まとめ

- 平湯でのSNSの活用は有用
 - ➡ 現在あまり活用されていない・写真が映える
- 活用の土台作りが課題
- できるだけ運営とユーザーが交流を持つアイデアが必要

参考文献

- 『朝日新聞DIGITAL』 「田舎を再生・徳島県上勝町」 2009年5月26日
http://www.asahi.com/showbiz/tv_radio/TKY200905260195.html （最終閲覧日：2021年11月26日）
- Booking. Com(2021)「旅行が及ぼすインパクトに関する意識の高まり：責任ある旅行の始まり」 <https://www.booking.com/articles/impact-awakening-the-rise-of-responsible-travel.ja.html> （最終閲覧日：2021年10月28日）
- 公益財団法人日本交通公社（2021年8月30日）「経済効果を高めるための観光政策に関する研究」 <https://www.jtb.or.jp/research/economic-column-now/> （最終閲覧日：2021年11月22日）
- 国土交通省観光局（2021）「PRESS RELEASE: SDGs への貢献と持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の推進に向けて取組方針を策定しました！」
https://www.jnto.go.jp/jpn/news/press_releases/20210622.pdf （最終閲覧日：2021年10月28日）
- 国連世界観光機関（n.d.）「持続可能な観光の定義」 <https://unwtoap.org/why/tourism-definition/>
（最終閲覧日：2021年10月28日）
- じゃらん 岡田旅館 <https://www.jalan.net/yad300544/blog/entry0002814082.html>
（最終閲覧日：2021年11月22日）
- 総務省（2007）「特色ある地域活性化事例」
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/daijin_kurumaza/pdf/jirei.pdf （最終閲覧日：2021年11月22日）
- 総務省（2021）「令和3年版インターネットの利用状況」
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242120.html> （最終閲覧日：2021年11月22日）